

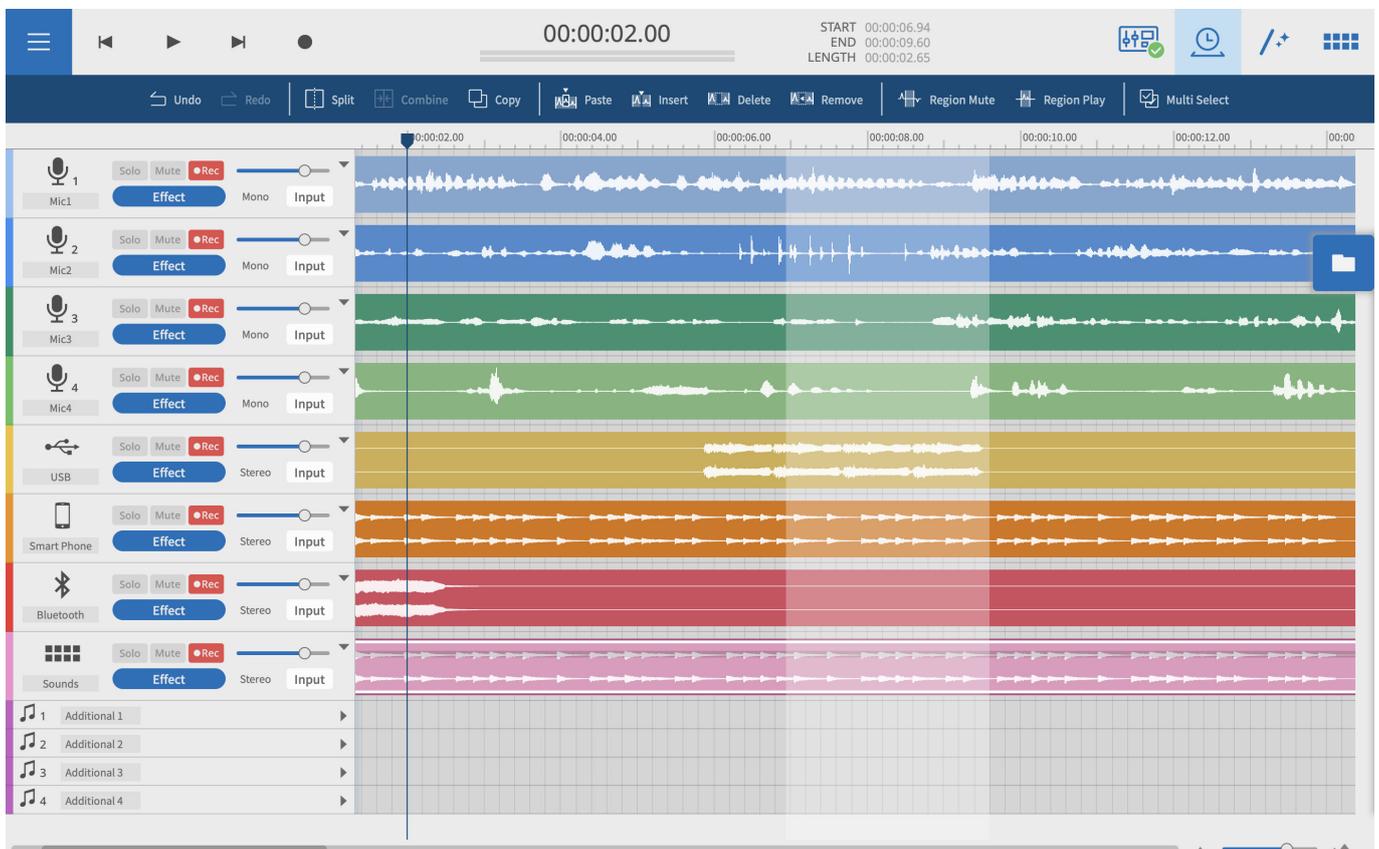
TASCAM

D01397001B

TASCAM

Podcast Editor

取扱説明書



目次

概要	2
本書の表記	2
商標および著作権に関して	3
動作環境	3
Windows	3
Mac	3
iOS/iPadOS デバイス	3
対応フォーマット	3
TASCAM ID の登録について	3
TASCAM Podcast Editor をインストールする	4
Windows	4
Mac	4
Gatekeeper について	5
iOS/iPadOS デバイス	6
Windows で使用する場合 (サウンド設定について)	7
macOS で使用する場合 (オーディオ設定について)	7
iOS/iPadOS で使用する場合	7
TASCAM Podcast Editor について	8
ソフトウェアの自動更新機能	8
TASCAM Podcast Editor の画面構成	8
プロジェクト画面	8
プロジェクト作成画面	9
波形編集画面	10
編集ツール部	11
コントロール部	11
メニュー	12
サウンドパッド設定	13
録音・編集する	14
プロジェクト作成手順	14
作成したプロジェクトを編集する	15
ファイルブラウザについて	17
Effect	17
ポッドキャストファイルの書き出し	18
iOS/iPadOS デバイスについて	19
iOS/iPadOS のプロジェクト作成手順	19
ポッドキャストファイルの取り込みについて	20
サウンドパッド編集エリア	20
「Default Sounds」の操作について	20
「Sync from SD」の操作について	21
「Sync to SD」の操作について	22
「Import」の操作について	22
「Export」の操作について	23
「Mixcast 設定の保存」の操作について	23
「Mixcast 設定の読み出し」の操作について	24
便利な機能	25
オートマッチック	25
タイムストレッチ	25
Loudness Normalization	25
自動時刻合わせ	25
Mixcast 設定の保存	25
Mixcast 設定の読み出し	25
こんな時は	25
接続編	25
Podcast 出力編	26
プロジェクト編	26
一般編	26

TASCAM Podcast Editor は、TASCAM Mixcast と連携して、録音した内容の編集や、パソコンで編集 / 作成した効果音や BGM を Mixcast 本体の SOUND PAD ボタンに登録が可能です。

本ソフトウェアをご使用いただく場合は、「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みいただき、同意いただいた上でご使用ください。

概要

- シンプルで使い勝手の良い波形編集
- TASCAM Mixcast で収録した録音データをワンアクションで TASCAM Podcast Editor の音声トラックへ取り込みが可能
- 専用画面でパッドへの音源や機能割り当て可能なサウンドパッド機能
- 録音機能搭載、トラック単位で入力設定などが可能
- Podcast 向けに MP3/WAV ファイル出力機能、動画投稿サイト向けに静止画一枚で、動画ファイルが作成可能な MP4 ファイル出力機能搭載
- 指定したホスティングサービスへ接続、アップロードを簡略化する機能を搭載
- Windows, macOS, iOS/iPadOS のデバイスをサポート
* 3 ページ「動作環境」を参照してください。
- Mixcast 4 使用時、ドライバーインストール不要
- トラックに収録した音声を文字起こしするサービスを提供予定
* 今後のバージョンアップにて対応予定

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- スマートフォン・タブレット端末、パソコンを「各デバイス」と表記します。
- 本ソフトウェアとは、「TASCAM Podcast Editor」を示します。
- 本ソフトウェアの操作で、スマートフォン・タブレット端末では、以下に置き換えてお読みください。
 - 「クリック」→「タップ」
 - 「ダブルクリック」→「ダブルタップ」
 - 「右クリック」→「長押し」
(macOS は、「control」+「クリック」)
 - 「左右上下にスライド」→「左右上下にスワイプ」
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を「OK」のように表記します。
- 本書の「iOS」の表記には、「iOS」および「iPadOS」を含んで表記しています。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本ソフトウェアを、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iOS、iPad、iPadOS および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- iOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。



- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH, registered in Europe and other countries.



- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。したがって、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

動作環境

最新の対応 OS 状況については、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) をご確認ください。

注意

各 OS での動作確認は、下記のシステム条件を満たす標準的な環境での結果になります。

下記の条件を満たす環境であっても、全ての動作を保証するものではありません。

Windows

対応 OS

Windows 11
Windows 10 64 bit
(バージョン 1909 "November 2019 Update" 以降)

対応パソコン

USB 2.0 以上を装備した Windows 対応パソコン
* 当社製ドライバー使用時 (ASIO)
(ARM64 CPU は、動作保証外)

ディスプレイ解像度

1280 × 800 以上 (1920 × 1080 以上を推奨)

Mac

対応 OS

macOS Monterey (バージョン 12)
macOS Big Sur (バージョン 11)
macOS Catalina (バージョン 10.15)

対応パソコン

USB 2.0 以上を装備した Mac

ディスプレイ解像度

1280 × 800 以上 (1920 × 1080 以上を推奨)

iOS/iPadOS デバイス

iOS 15 / iPadOS 15
iOS 14 / iPadOS 14
iOS 13 / iPadOS 13

対応フォーマット

WAV、BWF、AIFF、AIF、FLAC、OGG、MP3、WMA、ASF、WM、AAC
* 各 OS の対応フォーマットに依存します。

TASCAM ID の登録について

本ソフトウェアをダウンロード、およびアクティベートするには、TASCAM ID の登録が必要です。TASCAM のウェブサイトにて、本ソフトウェアを使用する際のアカウント登録をお願いいたします。

<https://tascamid.tascam.jp/int/login/>

注意

本ソフトウェアは、専用アカウントをお持ちでない場合、ご使用になれません。必ず、上記「TASCAM ID」にて、アカウント登録をお願いいたします。アカウント登録は、どなたでも無料でご登録いただけます。

TASCAM Podcast Editor をインストールする

メモ

- iOS/iPadOS 用アプリケーションは App Store から、Windows / macOS 版は TASCAM のウェブサイトから、無料でインストール (*) が可能です。
 - * ご使用には TASCAM ID が必要です。「TASCAM ID の登録について」を参照の上、登録をお願いいたします。TASCAM ID は、どなたでも無料で登録いただけます。
- インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

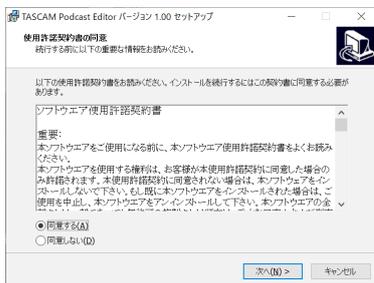
Windows

1. TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、最新の TASCAM Podcast Editor をダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存した TASCAM Podcast Editor (zip ファイル) をデスクトップなどに展開してください。
3. 展開して生成されるフォルダー内にある「TASCAM Podcast Editor_xxx.exe(xxx はバージョン番号)」をダブルクリックすると、インストールソフトウェアが起動します。

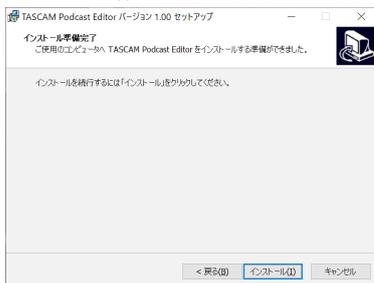
メモ

zip ファイルを展開せずに、ダブルクリックして開かれたフォルダーで exe ファイルを実行した場合には、インストーラーは、起動できません。zip ファイルを右クリックして表示されるメニューから「すべて展開...」を選択するなどして展開してから再度実行してください。

4. 「セキュリティの警告」または「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので、「はい (Y)」ボタンをクリックします。
5. 使用許諾契約書の内容を確認し、内容に同意ができれば、「同意する (A)」を選択します。
次に「次へ (N) >」ボタンをクリックします。



6. 次に「インストール (I)」ボタンをクリックします。



7. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「完了 (F)」ボタンをクリックします。



以上で、本ソフトウェアのインストール作業は完了です。

Mac

メモ

Gatekeeper の設定により、インストール中に警告画面が出ることがあります。Gatekeeper については、5 ページ「Gatekeeper について」をご参照ください。

1. TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用の OS に適した最新の TASCAM Podcast Editor をダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存した「TASCAM Podcast Editor」のディスクイメージファイル「Podcast Editor_xxx.dmg(xxx はソフトウェアのバージョン番号)」をダブルクリックし、開いたフォルダー内の「Podcast Editor.pkg」をダブルクリックします。



PodcastEditor_Installer.pkg

メモ

ご使用の環境により、ダウンロードした zip ファイルが展開されていない場合があります。その場合は、zip ファイルを展開してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

3. インストーラーが起動しますので、「続ける」ボタンをクリックします。



4. 次に希望の言語を選択し、「続ける」ボタンをクリックします。



- 「使用許諾契約を読む」ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができれば、「同意する」を選択します。

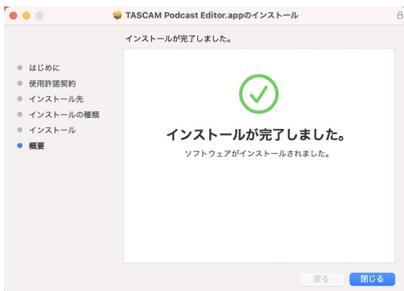
次に「続ける」ボタンをクリックします。



- 次に「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



- 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「閉じる」ボタンをクリックします。



以上で本ソフトウェアのインストール作業は完了です。

メモ

本ソフトウェアをインストール後、下記メッセージを表示する場合があります。その場合、「OK」ボタンをクリックしてください。



Gatekeeper について

macOS をお使いの場合、セキュリティー機能の Gatekeeper 設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。

表示された警告メッセージにより、対処方法異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

Gatekeeper の設定を「Mac App Store からのアプリケーションのみを許可」にしている場合

- 「Podcast Editor.pkg」は、Mac App Store からダウンロードされたものでないため開けません。」というセキュリティーの警告画面が表示されることがあります。



その場合には「OK」ボタンをクリックして、警告画面を閉じた後にファイル上で、control キーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから「開く」をクリックしてください。

- 「Podcast Editor.pkg」は、Mac App Store からダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか？」という警告画面が表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。



このとき、次の Gatekeeper の設定を「Mac App Store からのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

- 「Podcast Editor.pkg」は、Mac App Store からダウンロードされたものでないため開けません。」というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーからデスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeper の設定を「Mac App Store と確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」に変更してから再度実行してください。

Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合

- 「Podcast Editor_xxx.dmg(xxxはソフトウェアのバージョン番号)は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか?」というセキュリティの警告画面が表示されることがありますが、その場合には「開く」ボタンをクリックしてください。



Gatekeeperの設定を変えるには

- Gatekeeperの設定は、「アップルメニュー」>「システム環境設定」、または「新規 Finder ウィンドウ」>「アプリケーション」>「システム環境設定.app」をクリックし、「セキュリティとプライバシー」から「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:」項目で変更できます。変更するには左下の🔒アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



🔒 ボタンもしくは command + Qなどでシステム環境設定を終了する、または画面上の「すべてを表示」をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティにリスクが生じる場合があります。Gatekeeperの設定を変更してセキュリティを下げた(下にある項目に変更した)ときは、本ソフトウェアのインストール終了後に設定を元に戻してください。

iOS/iPadOS デバイス

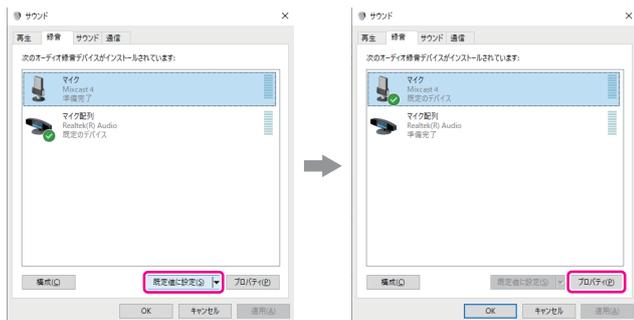
- iOS/iPadOS デバイスの場合は App Store から、「TASCAM Podcast Editor」を検索し、インストールを実施してください。
- インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

Windows で使用する場合 (サウンド設定について)

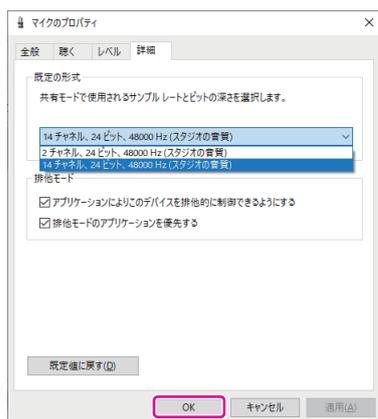
Windows で使用する場合、TASCAM Mixcast と接続後、本ソフトウェアを起動する前に以下の手順でサウンド設定を行ってください。

サウンド設定

1. Windows スタート > 「設定」 > 「システム」 > 「サウンド」 から「サウンドコントロールパネル」を開きます。
2. 「録音タブ」を選択して、「マイク (Mixcast 4)」を選択後、「既定値に設定 (S)」をクリックします。「マイク (Mixcast 4)」にチェックマーク (✓) が付いたことを確認して、「プロパティ (P)」をクリックします。



3. 「マイクのプロパティ」画面から、「詳細」タブの「既定の形式」 「14チャンネル、24ビット、48000Hz」を選択し、「OK」ボタンを押します。



- 本ソフトウェアなどマルチチャンネルに対応しているソフトウェアを使用する場合は、14チャンネルの設定を選択します。
- OBS Studio などの2チャンネルのオーディオデバイスを対象とするアプリケーションを使用する場合は、2チャンネルの設定を選択します。

以上で、サウンド設定は完了です。
本ソフトウェアを起動します。

macOS で使用する場合 (オーディオ設定について)

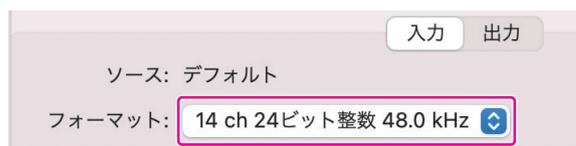
macOS で使用する場合、TASCAM Mixcast と接続後、本ソフトウェアを起動する前に以下の手順でサウンド設定を行ってください。

オーディオ設定

1. 「Launchpad」 > 「その他」、または「新規 Finder ウィンドウ」 > 「アプリケーション」 > 「ユーティリティ」から「Audio MIDI 設定」  アプリケーションを開きます。
2. サイドバーに表示されている「Mixcast 4」をサウンド入力装置 (マイク / スピーカー) に設定します。



- 「通知音とサウンドエフェクトを再生」は、外しておきます。
3. 「入力」のフォーマット設定が下図のように「14ch」になっていることを確認します。



以上で、オーディオ設定は完了です。
本ソフトウェアを起動します。

iOS/iPadOS で使用する場合

iOS/iPadOS では、オーディオ設定の必要はありません。

TASCAM Podcast Editor について

インターネットに接続されている環境で、本ソフトウェア起動時にお知らせが表示されます。

メモ

「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェックすることで、次回の起動時から同じメッセージを表示しないようにできます。

ソフトウェアの自動更新機能

インターネットに接続されている環境で、本ソフトウェアの新しいバージョンがリリースされた場合、ソフトウェア起動時に以下の自動更新案内が表示されます。



① 今すぐアップデートする

最新のソフトウェアをご使用になる場合、このボタンをクリックしてください。

② あとでアップデートする

あとで更新したい場合は、このボタンをクリックしてメッセージを閉じてください。

③ 同じメッセージを再度表示しない

「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェックすることで、次回の起動時から同じメッセージを表示しないようにできます。

TASCAM Podcast Editor の画面構成

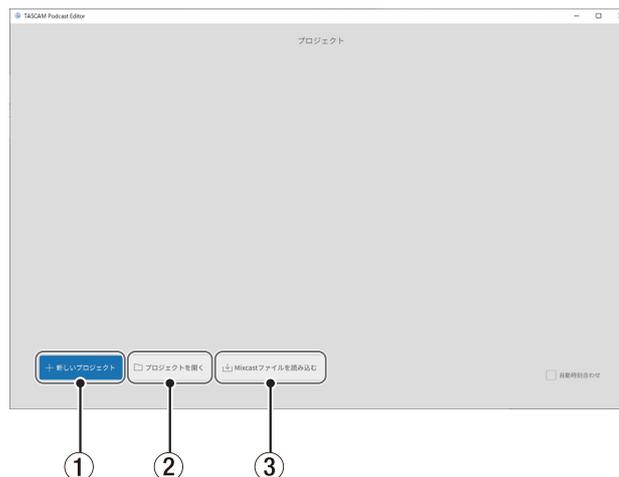
メモ

- 本ソフトウェアで作成した成果物は、「プロジェクト」として保存されます。
- 基本的に本文中の画面表示は、PC 画面で説明しています。iOS/iPadOS の場合、画面表示が異なる場合があります。

プロジェクト画面

初期のプロジェクト画面

何もプロジェクトを作成していない場合、下記画面になります。



① 新しいプロジェクト

新規にプロジェクトを作成します。

② プロジェクトを開く

既存のプロジェクトの中にある ".tpe" ファイルを選択します。

メモ

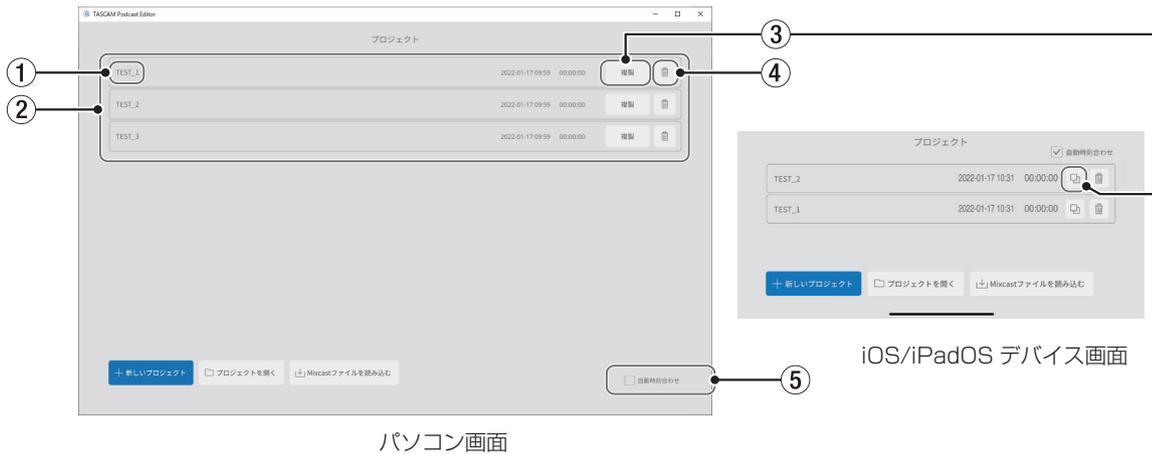
iOS/iPadOS デバイスでプロジェクトを作成する場合、19 ページを参照してください。

③ Mixcast から読み込む / Mixcast ファイルを読み込む

- Mixcast から読み込む [Mixcast 4 接続時]
Mixcast 本体の SD カードに記録したポッドキャストファイルを選択して、本ソフトウェアに取り込みます。
- Mixcast ファイルを読み込む [Mixcast 4 未接続時]
各デバイスに保存してあるポッドキャストファイルを選択して、本ソフトウェアに取り込みます。

通常のプロジェクト画面

作成したプロジェクトを表示します。既存のプロジェクトを開く場合、目的の「プロジェクト」名をダブルクリックしてください。



① プロジェクト名

作成したプロジェクト名を表示します。

② プロジェクトリスト

作成したプロジェクトをリストで表示します。

③ プロジェクトの複製 (Duplicate)

複製する際にプロジェクト名を入力します。

④ プロジェクトの削除

プロジェクトに含まれている音源等も削除されます。

⑤ 自動時刻合わせ

チェックボックスにチェックを入れておくと、TASCAM Mixcast 本体の日時をパソコン側の日時に修正 / 同期します。

プロジェクト作成画面



① プロジェクト名

作成するプロジェクトの名前 (*) を入力します。

* 推奨文字数：英数字 20 文字程度

② プロジェクトの場所

パソコンをご使用の場合は、保存先を変更する事もできます。

③ キャンセル

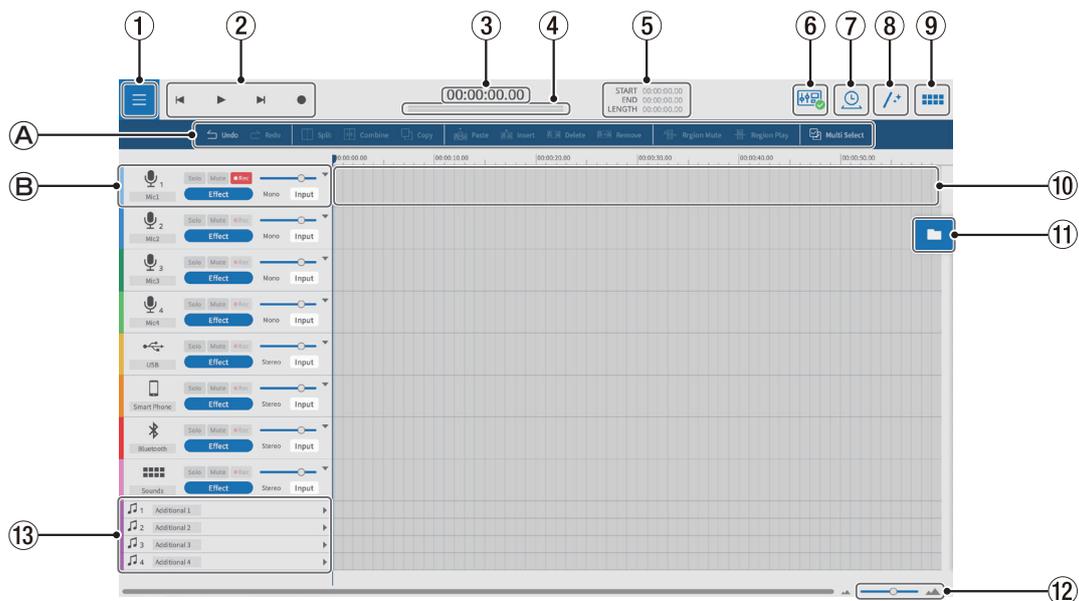
前の画面に戻ります。

④ トラック名を空欄にする

チェックボックスにチェックを入れておくと、波形編集画面上のトラック名表示 (⑥) が空欄になり、お好みの名称を入力できます。(マイク等のアイコンは、変更できません。)

⑤ 作成

プロジェクトを作成します。



④ 編集ツール部

各トラックに取り込んだ波形の編集が行えます。

⑤ コントロール部

入力トラックの設定を行います。

① メニュー

各種メニューを表示します。

② トランスポート

再生 / 停止 (▶ / ■)、プロジェクトの開始位置に移動 (◀)、プロジェクトの終了位置に移動 (▶), 録音 (●) が可能です。

③ 時間表示

カレントカーソル位置を表示します。

④ レベルメーター表示

Mixcast 本体からの入力レベルや再生時の出力レベルを表示します。

⑤ START/END/LENGTH 表示

選択範囲の「開始位置 (START)」 / 「終了位置 (END)」 / 「長さ (LENGTH)」を表示します。

⑥ Mixcast 接続アイコン

Mixcast 本体と USB 接続で、正しく認識されているときに表示されます。

⑦ タイムストレッチ

任意の単一リージョンもしくは、複数リージョンの終端部を操作することにより、リージョンの伸縮を行います。

- 伸縮に合わせて、再生スピードが変化します。

⑧ オートマチック

1 クリックで、プロジェクト全体のノイズ軽減、マイク間の音量調整を自動的に行います。

⑨ サウンドパッド

Mixcast 本体のサウンドパッドに効果音などの設定が行えます。

⑩ トラックビュー

リージョンを表示します。

⑪ ファイルブラウザ

プロジェクト内に取り込んだファイルを「Podcast」と「Sound Pad」に分けて表示します。

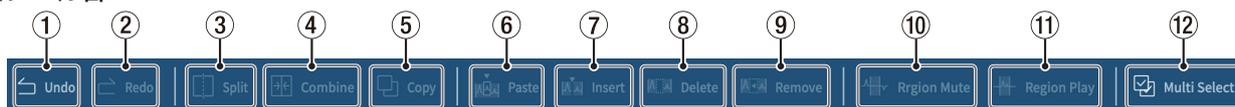
⑫ 拡大 / 縮小

波形データの時間軸方向の拡大 / 縮小が行えます。振幅方向の拡大 / 縮小は行えません。

⑬ Additional トラック

様々な用途に使用可能な拡張トラックです。他のトラックと異なり、「Mono」、「Stereo」の切り換えが可能です。

編集ツール部



① Undo (取り消し)

直前に行った操作を元に戻します。

② Redo (元に戻す)

直前に行った操作をやり直します。

③ Split (分割)

選択したリージョンを任意の位置で、分割することができます。

④ Combine (結合)

結合したいリージョンを選択して、このボタンを押すと結合します。Multi Select(⑫)を有効にすることで複数選択することが可能です。(リージョン間の隙間は、無音となります。)

ヒント

- 隣り合うリージョン同士を一定距離まで、近づけると吸い付きます。それにより隙間なく結合することが可能です。
- トラックを選択することにより、時間位置を保持したまま、同一トラック内を1つのリージョンとすることができます。
- Windowsは「Ctrl」、macOSは「Command」を押しながら、複数選択も可能です。

⑤ Copy (コピー)

リージョンや、選択範囲をコピーします。

⑥ Paste (貼り付け)

コピーした内容を任意の位置に貼り付けます。Insert(⑦)とは異なり、貼り付けにより、他のリージョン位置は変わりません。

⑦ Insert (挿入)

任意の位置にリージョンを挿入することができます。

⑧ Delete (消去)

選択したリージョン、もしくは選択範囲を消去します。Remove(⑨)とは異なり、消去部分はそのまま隙間となります。

⑨ Remove (切り取り)

選択したリージョンを切り取ります。

⑩ Region Mute (選択部の無音化)

選択した範囲を無音化します。突発的に録音されたノイズを消すことができます。

⑪ Region Play (選択範囲外の無音化)

選択した範囲外を無音化します。選択範囲外を無音化したいときに便利です。

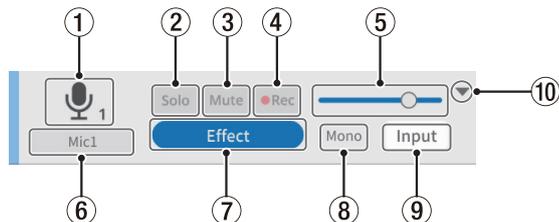
⑫ Multi Select (複数選択)

リージョンや、トラックの複数選択したい場合、有効にしてください。(オンの間は、「Multi Select」の背景色がハイライト表示になります。)

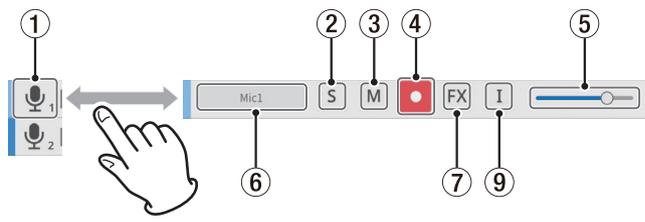
コントロール部

メモ

iOS/iPadOS デバイス上のコントロール部は、トラックアイコン側からスワイプして引き出せます。



パソコン画面



iOS/iPadOS デバイス画面

① トラックアイコン

Mixcast 本体の INPUT アイコンを表示します。

② Solo ボタン

選択したトラックのみ再生時にモニターして、他のトラックをミュートします。もう一度、選択すると解除します。(エクスポートするファイルには、影響しません。)

③ Mute ボタン

選択したトラックのみミュートします。もう一度、選択すると解除します。(エクスポートするファイルには、影響しません。)

④ REC ボタン

REC オン (●REC、または ●) になっているトラックが、録音対象トラックとなります。Mixcast 本体との接続時は、デフォルトでオンになっています。

⑤ 音量スライダー

左右にスライドさせて、トラック全体の音量調節ができます。(エクスポートするファイルにも反映されます。)

⑥ トラック名表示

プロジェクト作成画面(9ページ)で、Blank Track Name(④)にチェックを入れなかった場合は、Mixcast 本体の入力に応じた名称を表示します。名称表示部をダブルクリックすると、名称を変更できます。

⑦ Effect 設定

トラックにエフェクトを掛けることが可能です。お気に入りの VST3 (Windows /macOS)/Audio Units (macOS) プラグインを設定することや、本ソフトウェアに内蔵されているエフェクトを使用することが可能です。(17ページ「Effect」を参照)

⑧ トラックタイプ

入力トラックを「Mono」、または「Stereo」で表示します。

- Track1 - Track4 は、「Mono」
- Track5 - Track8 は、「Stereo」

(Additional トラックでは、任意に選択できます。)

iOS/iPadOS ではアイコンで表示します。

- : Mono
- : Stereo

⑨ Input 設定

Mixcast 本体との接続時は、自動で下記が設定されており、表示されません。

Track 1 : Mic 1	Track 5 : USB
Track 2 : Mic 2	Track 6 : Smart Phone
Track 3 : Mic 3	Track 7 : Bluetooth
Track 4 : Mic 4	Track 8 : Sounds

他のオーディオインターフェース等を接続した際は、必要に応じて設定を行ってください。

⑩ Open/Close

Close にすることにより、プロジェクト全体を把握しやすくなります。波形の有無は、Close 状態でも認識できます。

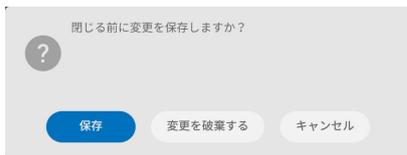
メニュー

波形編集画面からメニュー (①) を開きます。



「プロジェクト」

プロジェクト画面に戻ります。プロジェクト画面に戻る前に保存についてのメッセージを表示します。



現在のプロジェクトを「保存」または、「破棄」するか選択してください。

ファイル部

「保存」

編集しているプロジェクトを保存します。

「エクスポート」

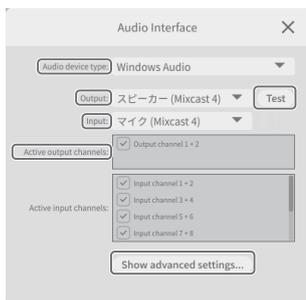
作成したプロジェクトを様々な用途に合わせて、出力します。
(「ポッドキャストファイルの書き出し」を参照)

設定部

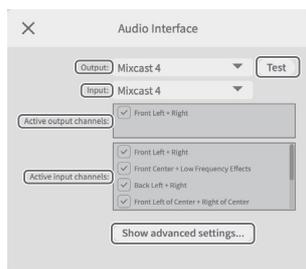


「オーディオインターフェース」

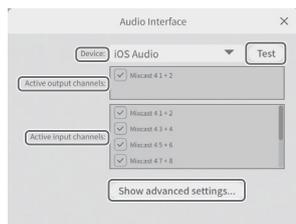
ご利用の環境によって、表示内容が異なります。「Output」 / 「Input」の設定を「Mixcast」に選択してください。



Windows



macOS



iOS/iPadOS

メモ

「Output」 / 「Input」を「Mixcast」に設定後、USBケーブルの抜き差し、または Mixcast 本体の再起動等を行った際は、「Audio interface」再設定が必要です。

- 「Audio device type」
(macOS、iOS/iPadOS は不要)

Windows の場合

- Windows Audio
通常は、こちらを選択します。
- Windows Audio (Exclusive Mode)
本ソフトウェアが Windows Audio を専有するモードです。
- ASIO
ASIO ドライバーを使用する場合に選択します。

iOS/iPadOS の場合

- iOS Audio
通常は、こちらを選択します。
- 「Output/Input (iOS/iPadOS は不要)」
どちらも「Mixcast」を選択します。
- 「Active output channels」
表示される内容に が入っていることを確認してください。
- 「Active input channels」
表示される内容に が入っていることを確認してください。
- 「TEST」
テストトーンを出力して、Mixcast 本体との接続を確認できます。
- 「Show advanced setting...」
下記の詳細設定を表示します。
 - Sample Rate を設定します。
 - Audio buffer size を選択できます。

「Mixcast 設定の保存」

Mixcast 本体にアサインされているサウンドパッドを含め、各種設定が所定の場所に保存されます。
ただし、Mixcast 本体の「Audio Settings」の「Line Level Output」設定は、オフで保存されます。

- プロジェクト内に保存時の日時データ (yyyyMMdd_hhmmss) を名称としたフォルダーが作成されます。

「Mixcast 設定の読み出し」

保存時に作成したフォルダーを選択してください。

メモ

「Mixcast 設定の保存」および「Mixcast 設定の読み出し」を iOS/iPadOS デバイスで使用する際は、19 ページを参照してください。

「サウンドパッド設定」

設定を有効にすることにより、パッドアサイン時に、ノーマライズ処理を行い、アサインされたパッド間の再生音量をそろえることができます。

ヘルプ部



「マニュアル」

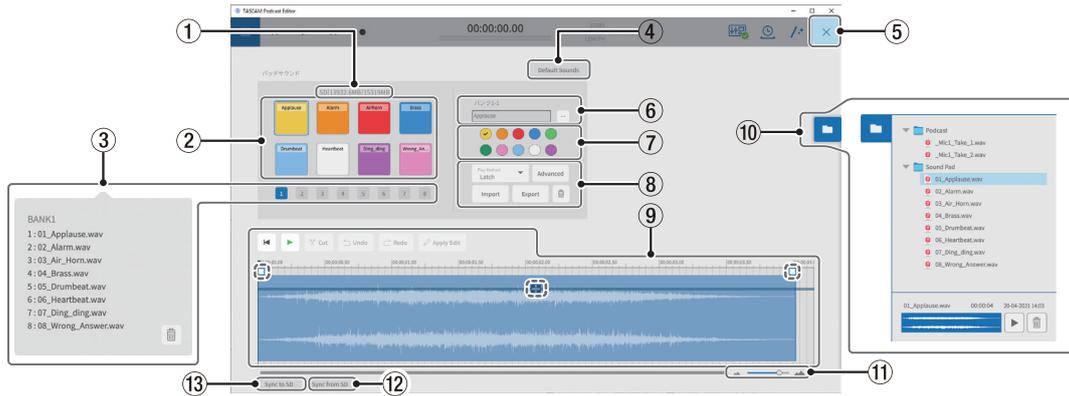
本マニュアル (pdf) の最新版にアクセスできます。

「このアプリについて」

本ソフトウェアについての情報 (バージョンなど) を表示します。

サウンドパッド設定

波形編集画面からサウンドパッド(⑨)を開きます。(iOS/iPadOS デバイスの場合は、19 ページも参照してください。)



① SD カード容量

Mixcast 本体の SD カード容量を「残容量 / 総容量」で表示します。

② サウンドパッド

パッドをクリックすると、選択したパッドに関する設定ができます。(1 パッド毎に設定が開きます。)

- Windows / macOS の場合は、任意のサウンドファイルを選択してドラッグ&ドロップで、設定することができます。

ヒント

- ファイルブラウザ(⑩)からもドラッグ&ドロップできます。また、バンク番号とパッド番号表示(⑥)の[...]で、各デバイスのファイルブラウザが開きますので、そこからサウンドパッドに設定したいサウンドファイルを選択できます。
- 対応フォーマット(各 OS の対応フォーマットに依存します。) WAV, BWF, AIFF, AIF, FLAC, OGG, MP3, WMA, ASF, WM, AAC
- メニュー>「サウンドパッド設定」>「PAD アサイン時にノーマライズを行う」が有効になっている場合は、パッドに設定する時に、ノーマライズ処理を実施します。

③ バンク選択

1 ~ 8 バンクを選択できます。
(8 パッド×8 バンク=64 通りの設定が可能です。)

メモ

バンク番号上で右クリックすると、選択中のバンクに割り当てられている各パッドのサウンドファイル名を一覧で確認できます。
🗑️ アイコンをクリックすると、そのバンクのパッドのファイル名を全て削除します。

④ Default Sounds

サンプル用にプリセットされている8つの音源をバンク 1 に設定します。「Default Sounds」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

注意

Mixcast 本体のバンク 1 が、すでにパッド設定されている場合、「Default Sounds」を実行するとバンク 1 は、上書きされます。

⑤ 閉じるボタン

サウンドパッド設定を閉じて、波形編集画面を表示します。

⑥ バンク番号とパッド番号表示

- 選択中のバンク番号とパッド番号を表示します。
- 枠内にパッドのサウンドファイル名を表示します。(直接、ファイル名の変更(英数字のみ)が可能です。)
- 枠の右横の「...」から参照フォルダーを開いて、サウンドファイルを読み込みます。

⑦ パッドカラー選択

Mixcast 本体のパッドの色を指定します。

⑧ 再生方法 (Play Method) の設定

- Advanced
パッド再生の拡張機能を以下の中から選択できます。(この設定は Mixcast 本体でも設定可能です。)
- None : 何も設定しません。

- Bleep : 自主規制音(ピー音)を設定します。(他の入力音は、消音します。)
- Effect : Mixcast 本体の入力で、設定しているエフェクト(リバーブ/ボイスチェンジ)を設定します。
- 再生方法選択 (Play Method)
Mixcast 本体で、パッドを押したときの再生方法を以下の6種類から選択できます。

Latch	1 回押すと再生し、もう一度押すと停止します。再度、押すと先頭から再生し、何も操作しなければ、ファイルの最後まで再生し、停止します。
Pause	1 回押すと再生し、もう一度押すと一時停止します。再度、押すと続きから再生し、何も操作しなければ、ファイルの最後まで再生し、停止します。
RePlay	1 回押すと再生し、もう一度押すと、先頭から再生します。何も操作しなければ、ファイルの最後まで再生し、停止します。
One Shot	1 回押すと再生し、ファイルの最後まで再生します。途中で再生を止めるには、パッドボタンを長押しします。
Repeat	1 回押すと再生し、もう一度押すと停止します。再度、押すと先頭から再生し、何も操作しなければ、繰り返し再生を行います。
Touch	押している間だけ、再生します。

• Import

Mixcast 本体の該当バンク / パッドに割り当てられている音源や設定を取り込みます。

Mixcast 本体で直接パッドに録音した音源や設定を選択されているパッドに取り込む場合に便利です。

• Export

Mixcast 本体の該当バンク / パッドに本アプリで設定している音源や設定を反映させます。選択されているパッドのみのファイル転送を行うので、[Sync to SD] よりも短時間で処理されます。

「Import」や「Export」は、パッドカラーや再生方法のみの変更にも対応しています。

「Import」や「Export」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

• 🗑️ (ゴミ箱)

選択中のパッド情報を削除します。

⑨ サウンドパッド編集エリア

パッドに割り当てたサウンドファイルの波形の簡易編集ができます。選択範囲を [✂️ Cut] して隙間を埋める、または波形始端部や終端部のポイント(破線部)をドラッグして、フェードイン/アウトも設定することができます。編集完了後、[✎ Apply Edit] で変更を適用します。

音量調整バー(🔊)を操作することにより、パッド再生時の音量を設定することができます。この設定値は、Mixcast でも設定することが可能で設定値を共有して動作します。
デフォルト: 0dB
設定範囲: -inf ~ +10dB
※ Mixcast 4(Ver 1.30 以降)

- iOS/iPadOS デバイスの場合
 - 編集エリアを開く場合は、 アイコンをタップします。
 - 編集エリアを閉じる場合は、 アイコンをタップします。
- ⑩ **ファイルブラウザ**
本プロジェクトに取り込んだサウンドファイルが Podcast ファイル、Sound Pad ファイルにフォルダー分けされます。
- ⑪ **拡大 / 縮小**
波形データの時間軸方向の拡大 / 縮小が行えます。振幅方向の

拡大 / 縮小は行えません。

- ⑫ **Sync from SD**
Mixcast 本体のパッドの設定を本ソフトウェアに反映させます。「Sync from SD」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、接続アイコンの表示を確認後に実行してください。
- ⑬ **Sync to SD**
本ソフトウェアのパッドの設定を Mixcast 本体に反映させます。「Sync to SD」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

録音・編集する

プロジェクト作成手順

Mixcast 本体の取扱説明書、またはリファレンスマニュアルを参考にお使いの PC、もしくはタブレット端末やスマートフォンと Mixcast 本体を接続してください。接続が認識されると波形編集画面に Mixcast 接続アイコン (⑥) を表示します。

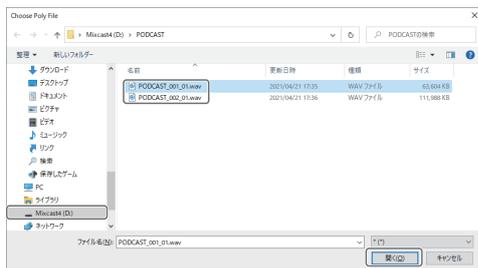
Mixcast からのポッドキャストファイルを取り込む

1. プロジェクト画面で「Read from Mixcast」をクリックします。また、Mixcast と USB ケーブルで接続せずに、ローカルから保存している録音ファイルを取り込む場合、「Read Mixcast File」をクリックして保存してある場所から録音ファイルを選択してください。

メモ

iOS/iPadOS デバイスをご使用の場合、19 ページ「iOS/iPadOS デバイスについて」を参照してください。

2. Mixcast 本体に保存されたポッドキャストファイルを表示しますので、編集したいファイルを選択し、「開く (O)」ボタンを押します。

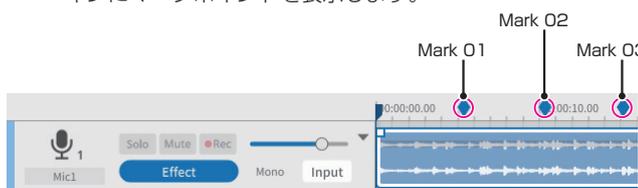


メモ

ポッドキャストファイルのサイズが、4GB を超えている場合、複数のファイル (「ポッドキャスト名_02.wav」、 「ポッドキャスト名_03.wav」) に分割されていますが、どのファイルを選択しても一括して取り込みます。(リージョンは、分かれず。)

選択したファイルの読み込みを完了すると、読み込んだファイル名で、新規プロジェクトが作成され、波形編集画面が開きます。

- プロジェクト名を変更したい場合、あらかじめ Mixcast 本体でファイル名を変更しておくか、プロジェクト画面にて変更するファイル名の「Duplicate」をクリックして、プロジェクトの複製を別名で作成します。
- Mixcast 本体で、「Mark」を登録していた場合、タイムラインにマークポイントを表示します。



メモ

Mixcast で作成したポッドキャストファイル名に、下記記号が含まれている場合、プロジェクト名に正しく反映されないことがあります。

記号例

@ # & % ^ + =

* 推奨文字数：英数字 20 文字程度

Mixcast と同期して録音する

1. 本ソフトウェアを起動して、プロジェクト画面から「New Project」をクリックしてください。
2. 次に、プロジェクト作成画面を表示するので、「プロジェクト名」の入力をして、「Create」をクリックします。
3. 新規プロジェクトが作成され、波形編集画面が開きます。波形編集画面のレベルメーター (④) で、Mixcast 本体からの入力を確認 (*) できます。
* 入力を確認できない場合、25 ページ「こんな時は」で、「接続編」を確認してください。
4. Mixcast 本体の REC/PAUSE [●] ボタンを押すと、本ソフトウェアも同期して録音開始します。
 - 録音の開始および停止は、Mixcast 本体に同期しますが、本ソフトウェアの操作でも可能です。(その場合、Mixcast 本体は同期しません。)
5. Mixcast 本体の STOP [■] ボタンを押すと、本ソフトウェアも同期して録音を停止します。
6. 録音したポッドキャストファイルを保存するには、メニューの「Save」をクリックします。
7. 以下のメッセージを表示しますので、「OK」をクリックします。



作成したプロジェクトを編集する

リージョンの編集

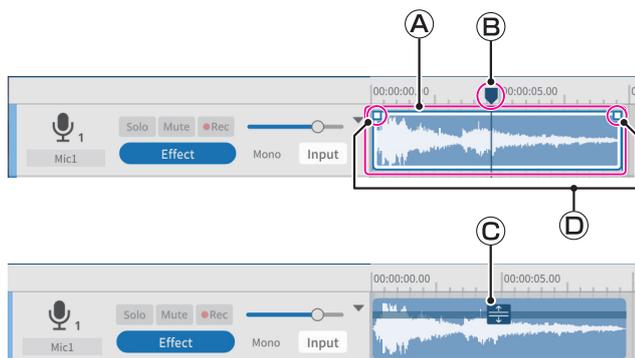
選択したリージョンに対して、あるいは START 点と END 点間を選択区間として、リージョンのコピーや削除、といった編集ができます。

- 波形編集画面のファイルブラウザ (⑩)、もしくは OS 標準のファイルブラウザから ".wav" ファイルを選択して、トラックビュー (⑩) にドラッグすると、リージョンとして読み込むことができます。

リージョンの選択と移動

- リージョンをクリックすると、そのリージョンが選択状態 (*) になり、リージョン選択枠 (白い枠) を表示します。
- リージョンを右クリックすると、リージョンの音量調整モードになり、リージョン音量調整バーを表示します。

* Windows は「Ctrl」、macOS は「Command」を押しながら、複数のリージョンも選択できます。



① リージョン選択枠

リージョン選択中に、そのリージョンの上半分の領域にマウスカーソルを持っていくと、ハンドカーソルに変わります。このときリージョン選択枠ごと、リージョンをドラッグして、トラックビュー内を左右に移動させる、または別のトラックに移動させることができます。

- リージョン選択枠の始端 / 終端をつまんでドラッグすると、トリムすることができます。トリムの伸縮は、リージョンを動かすのではなく、リージョンの開始点、終了点のみを変更させることができます。(元の WAV ファイル以上の長さに伸ばすことはできません。)

② カレントカーソル

タイムスケール表示部など、リージョン以外の部分をクリックすると設定されます。また、カレントカーソルのノブ部分にマウスカーソルを近づけると、左右が矢印タイプのカーソルに変わります。

③ リージョン音量調整バー

リージョンの右クリックで、音量調整モードになり、他のリージョンなどをクリックするとモードは、解除されます。モード中に、リージョン音量調整バーをドラッグすることにより、そのリージョンだけの音量を調整することができます。また、モード中はリージョンの移動などはできません。

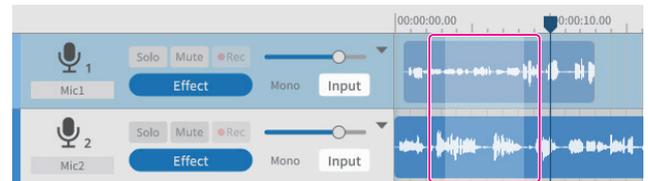
④ フェードイン・アウトポイント

ポイント (□部分) を左右にドラッグするとフェードイン、またはフェードアウトの位置を調整できます。

START & END (編集範囲) 指定

START 点および END 点の区間を指定することができます。この区間内のリージョンに対して、コピーや削除などといった編集コマンドを利用することができます。

- トラックビューの時間軸付近で、マウスをドラッグすると、その区間の最初と最後に START 点、END 点の範囲 (ホワイトアウト) が設定されます。
- リージョンの下半分の位置でも範囲設定可能です。



編集ツール

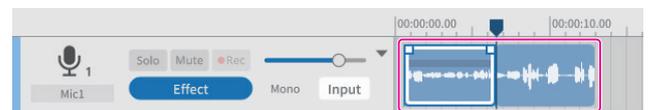
リージョンの START & END (編集範囲) 指定区間を編集ツールで加工できます。(編集ツールは、画面上のボタンから選択可能です。) また、OS に対応したショートカットキー (*) も使用できます。(編集範囲を指定するコマンドの場合、選択されているリージョンに対して、コマンドが有効になります。)

* ショートカットキーの操作は、Windows 用の操作を「Ctrl」、macOS 用の操作を「Command」であらわします。

- Split (分割) [Ctrl(Command)+E] (③)
対象: 選択されたリージョンおよびトラック
カレントカーソル位置で分割されます。



Split 前



Split 後

- Combine (結合) [Ctrl(Command)+U] (④)
対象: 同一トラックにあるリージョン
結合させたい 2 つ以上のリージョンを選択してください。結合したい複数のリージョンを Multi Select ツールを使って選択してください。「Ctrl」キー、または「Command」キーを押しながら、複数選択することもできます。(リージョン間の隙間は、無音となります。)



Combine 前



Combine 後

ヒント

隣り合うリージョン同士をドラッグしながら一定の距離まで近づけると吸い付きます。それにより、隙間なく結合することが可能です。

- Copy (コピー) [Ctrl(Command)+C](⑤)

対象：選択された範囲、またはリージョン
 コピーしたリージョンは、クリップボードに保存して貼り付ける、または挿入することができます。

- Paste (貼り付け) [Ctrl(Command)+Shift+V](⑥)

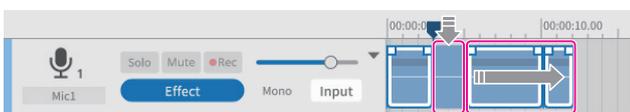
対象：選択されたトラック/リージョンのカーソル位置
 カーソル位置からクリップボードに保存したデータを貼り付けます。
 貼り付け位置より、後ろにあるリージョンは上書きされます。

- Insert (挿入) [Ctrl(Command)+V](⑦)

対象：選択されたトラック/リージョンのカーソル位置
 カーソル位置にクリップボードに保存したデータを挿入します。
 挿入位置より、後ろにあったリージョンは、自動的に後方にずれます。



Insert 前



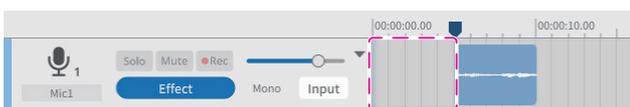
Insert 後

- Delete (消去) [Ctrl(Command)+Shift+X],または [Delete](⑧)

対象：選択された範囲、またはトラック/リージョン
 選択区間内のデータ、または選択されたトラックおよびリージョンを消去します。
 切り取りとは異なり、消去部分のデータはクリップボードに保存されません。
 また、消去した区間の後ろのリージョンは詰められません。



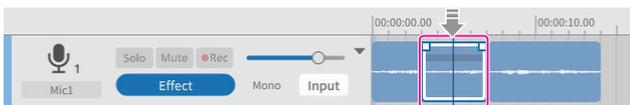
Delete 前



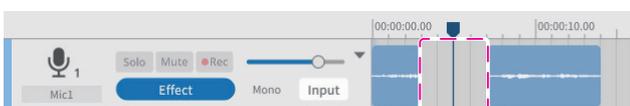
Delete 後

- Remove (切り取り) [Ctrl(Command)+X](⑨)

対象：選択された範囲、またはトラック/リージョン
 選択区間、または選択されたトラックおよびリージョンを切り取ります。
 選択区間内のデータ、または選択されたトラックおよびリージョンは切り取られますが、データはクリップボードに保存されます。
 また、範囲選択の場合は、後方の部分が前方に詰められますが、リージョン選択の場合は詰められません。



Remove 前 (リージョンを選択)



Remove 後 (リージョンを選択)

ヒント

トラック/リージョンを指定せずに、範囲選択だけ行った場合、全トラックに対し実行されます。この場合、後方に存在する別のリージョンは詰められません。



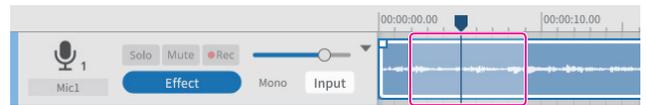
Remove 前 (範囲を選択)



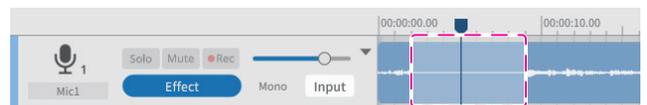
Remove 後 (範囲を選択)

- Region Mute (選択部の無音化)(⑩)

対象：選択された範囲
 選択区間を無音化します。
 突発的に録音されたノイズを消すことができます。



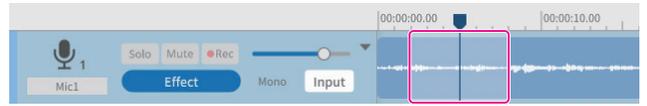
Region Mute 前



Region Mute 後

- Region Play (選択範囲外の無音化)(⑪)

対象：選択された範囲以外
 選択区間以外を無音化します。
 リージョンの始端/終端部を無音化したいときに便利です。



Region Play 前



Region Play 後

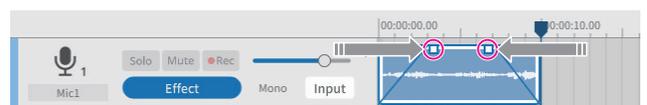
- Multi Select (複数選択)(⑫)

対象：リージョンおよびトラック
 トラック/リージョンを複数選択できます。

フェードイン/フェードアウトの設定

リージョン選択枠のリージョンの開始点、終了点の枠上にあるフェードイン・アウトポイントにカーソルを合わせると、ハンドカーソルに変わります。

そのままポイントを左右にドラッグして、フェードイン、またはフェードアウトの位置を設定できます。

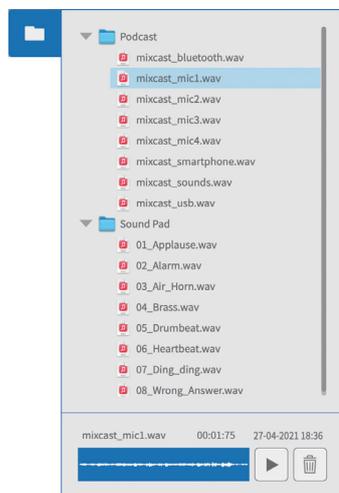


ファイルブラウザについて

本ソフトウェアで作成したプロジェクトごとに、下記のフォルダーが生成され、プロジェクトで使用した音源ファイルがコピーされています。

- Podcast フォルダー
- Sound Pad フォルダー

フォルダー構造

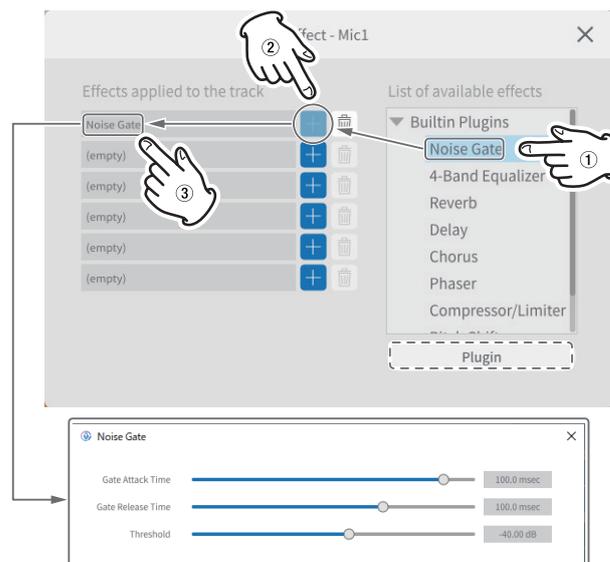


ブラウザ上での操作

- サウンドファイルの再生
選択したファイルを [▶] ボタンを押して、再生できます。
- サウンドファイルの削除
選択したファイルを [🗑️] ボタンを押して、削除します。
- サウンドファイルのドラッグ & ドロップ
波形編集画面のトラックやサウンドパッド画面のパッドに、ドロップすることができます。

Effect

各トラックに最大 6 種類のエフェクトを設定できます。
(下記は、「Mic1」のエフェクト設定例です。)



下記のエフェクトを右のリスト [①] から選択し、[+] ボタン [②] で、左のリストに [③] 反映できます。
また、左のリスト [③] 上で各エフェクトをクリックすると、設定や調整する項目を開きます。

- Noise Gate
不要な反響音や雑音を除去します。
- 4-Band Equalizer
4 バンドタイプのイコライザー調整ができます
- Reverb
残響効果の設定や調整ができます。
- Delay
エコー効果の設定や調整ができます。
- Chorus
アンサンブル効果の設定や調整ができます。
- Phaser
位相を変化させて音色の設定や調整ができます。
- Compressor/Limiter
音の強弱の設定や調整ができます。
- Pitch Shifter
音程の調整ができます。
- Low/High-Pass Filter
ノイズ除去する周波数を設定できます。

Plugin について (Windows/macOS)

ご使用になる VST3 plugin については、お使いのパソコンから検索して選択することができます。

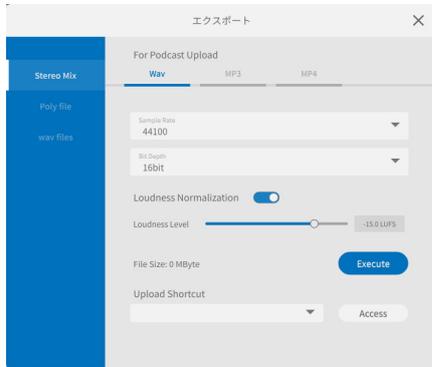
1. 上図の破線内の「Plugin」ボタンを押すと、Plugin 選択画面を表示します。
2. Plugin 選択画面の「Options...」ボタンから「Scan for new or updated VST3 plug-ins」を押すと、スキャン画面を表示します。
3. スキャン画面の「Scan」ボタンを押すと、お使いのパソコンから検索して、画面に「VST3 plugin」を表示しますので、必要な plugin をお選びください。

ポッドキャストファイルの書き出し

作成したプロジェクトを様々な用途に合わせて、出力します。
波形編集画面のメニューから「Export」を選択すると下記の Export 画面が開きます。

[Stereo Mix]

各トラックをステレオミックスにして出力するので、配信先にアップロードするのに便利です。



● For Podcast Upload

出力形式 [WAV/MP3/MP4]

下記設定が可能です。(用途に応じて、選択してください。)

出力形式	WAV	MP3	MP4 (*1)
Sample Rate	44100 Hz	44100 Hz	44100 Hz
	48000 Hz	48000 Hz	48000 Hz
Bit Depth	16 bit	--	--
	24 bit	--	--
Bit Rate	--	128 kbps	128 kbps
	--	192 kbps	192 kbps
	--	256 kbps	256 kbps (*2)
Video	--	--	360 p
	--	--	480 p
	--	--	720 p

*1 MP4 を選択すると、右側の破線内「Picture」部に静止画像を挿入できます。

*2 macOS、iOS/iPadOS のみ対応

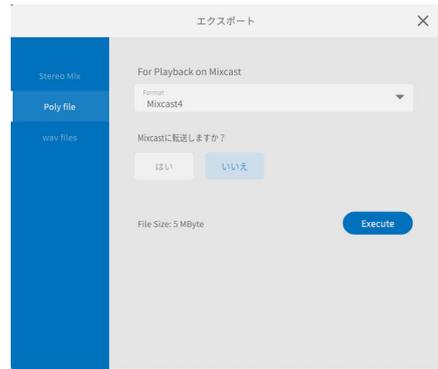
- Loudness Normalization (ラウドネスノーマライゼーション)
ラウドネスノーマライゼーションを実行する場合、スライドスイッチをオンにしてください。(初期設定: オン)
- Loudness Level (ラウドネスレベル)
ラウドネスノーマライゼーションがオンになっている場合、レベル調整ができます。バー上のカーソルを操作するか、表内の値を上書きできます。
 - 多くのアップロードサイトでは [-16] ~ [-14] LUFS が、一般的です。
- Execute ボタン
選択した内容で、Export を実行します。
「Execute」を実行すると、ポッドキャストファイルの保存場所が選択できます。任意の場所に保存してください。
- Upload Shortcut
ご利用の配信先 URL を記憶しておくことができます。
ご利用のアップロードサイトに、素早くアクセスすることができます。

メモ

Additionalトラックも Stereo Mix に含まれます。

[Poly File]

編集した各トラックを Mixcast 本体で、再生できる形式に変換します。



● For Playback On Mixcast

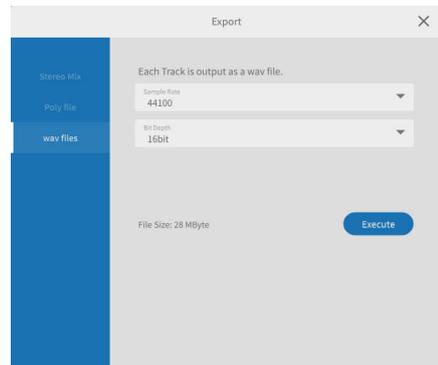
- Format
Poly File の形式を選択できます。
選択: 「Mixcast(*)」
* Mixcast 本体が接続されている時は、自動で判断をしますので選択できません。
- Transfer to Mixcast?
YES/NO
Poly File に変換後、Mixcast 本体に転送する場合は、「YES」を選択します。
(Mixcast 本体が接続されていない場合、「YES」は選択できません。)
- Execute ボタン
選択した内容で、Export を実行します。

メモ

Additionalトラックも Poly File 内の Stereo Mix に含まれます。

[wav Files]

他の DAW 等で編集するために、各トラックにファイルを出力します。



- Each track is output as a wav file.
 - Sample Rate
下記の周波数が選択できます
選択: [44100 Hz]/[48000 Hz]
 - Bit Depth
下記のビット深度が選択できます。
選択: [16 bit]/[24 bit]
- 「Execute」
選択した内容で、Export を実行します。

iOS/iPadOS デバイスについて

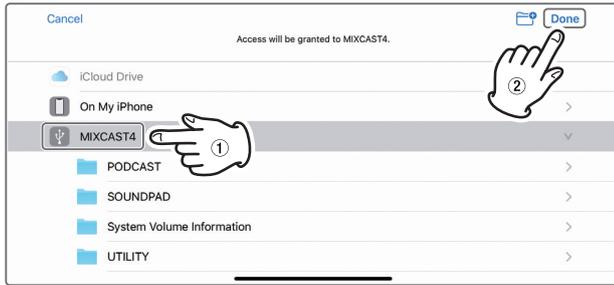
メモ

例として iOS/iPadOS デバイスは、「iOS 13」の画面で説明します。

iOS/iPadOS のプロジェクト作成手順

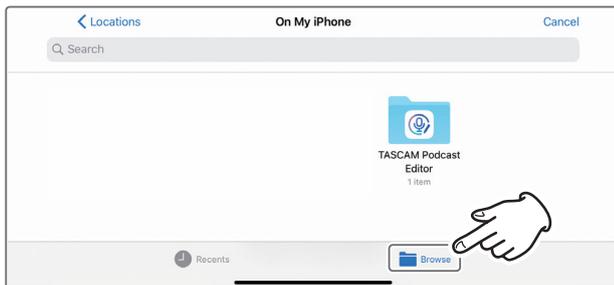
iOS/iPadOS デバイスと接続した Mixcast 本体から、ポッドキャストファイルを取り込んでプロジェクトを作成するには、下記の手順で行ってください。

(14 ページの「Mixcast からのポッドキャストファイルを取り込む」の手順で説明した「Read from Mixcast」を iOS/iPadOS デバイスで実行すると、下図のように外部ストレージ (Mixcast4) にアクセスの許可を求める画面を表示します。

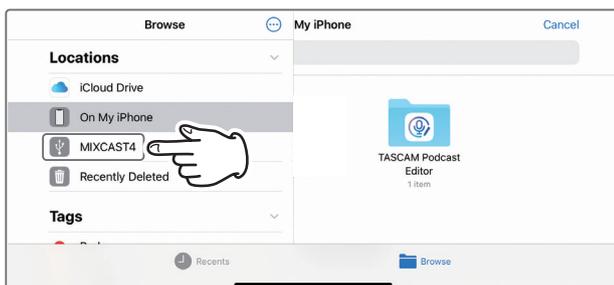


そのまま、「MIXCAST4」を選択して、画面の「Done」をタップします。

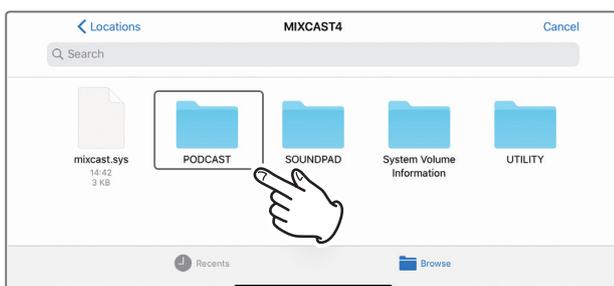
1. 次に「Browse」をタップします。



2. 「Browse」の「Locations」から「MIXCAST4」をタップします。



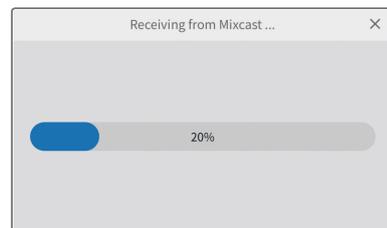
3. Mixcast 本体に保存された録音フォルダーを表示しますので、「PODCAST」フォルダーをタップします。



4. フォルダー内から、目的のポッドキャストファイルを選択してタップします。



ポッドキャストファイルの読み込み中は、プログレスバーを表示します。



- 選択したポッドキャストファイルの読み込みを完了すると、読み込んだファイル名で、新規プロジェクトが作成されます。

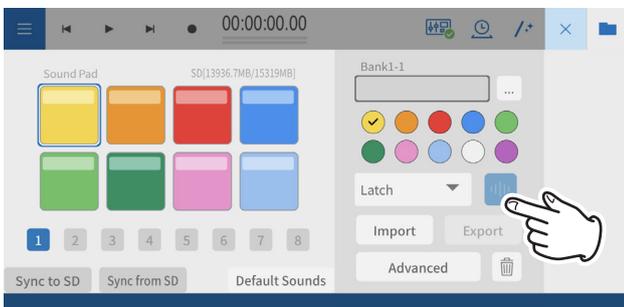
ポッドキャストファイルの取り込みについて

- 約 1GB のポッドキャストファイルを読み込むのに 3 分程度かかります。
- ポッドキャストファイルの読み込み中は、何も操作しないでください。
- 選択したポッドキャストファイルの読み込みを完了すると、読み込んだファイル名で、新規プロジェクトが作成され、波形編集画面が開きます。
例：「PODCAST_001.wav」
- プロジェクト名を変更したい場合、あらかじめ Mixcast 本体でポッドキャストファイル名を変更しておくか、波形編集画面からメニューの「Project」をクリックして、通常のプロジェクト画面に戻り、変更するポッドキャストファイル名の「複製 (Duplicate)」アイコンをクリックして、プロジェクトの複製を別名で作成します。

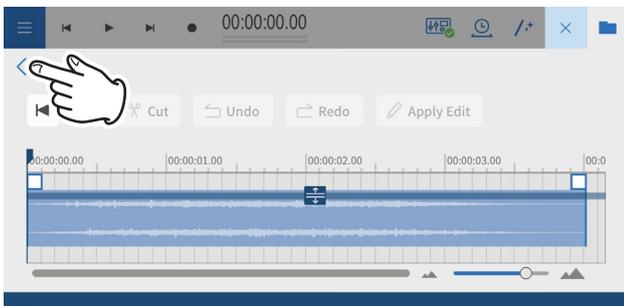
サウンドパッド編集エリア

iOS/iPadOS デバイスと接続したサウンドパッド編集エリアは、以下の手順で開きます。

1. サウンドパッド設定の  アイコンをタップします。



2. サウンドパッド編集エリアを表示します。
サウンドパッド編集エリアを閉じる場合は、< アイコンをタップします。



- サウンドパッド編集エリアの操作方法は、13 ページ「サウンドパッド設定」と同様です。

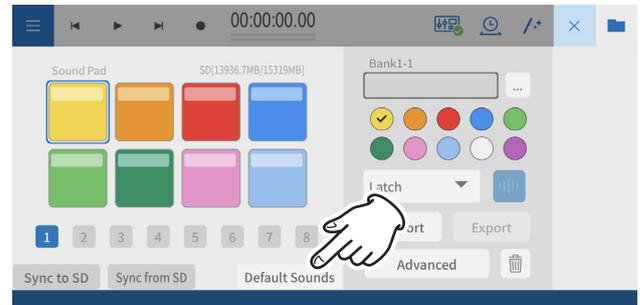
「Default Sounds」の操作について

iOS/iPadOS デバイスと接続した Mixcast 本体の SD カードに、サンプル用のパッド音源を転送し、バンク 1 に設定します。「Default Sounds」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、Mixcast 接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

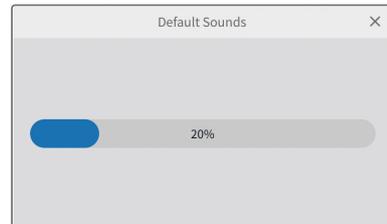
注意

Mixcast 本体のバンク 1 が、すでにパッド設定されている場合、「Default Sounds」を実行するとバンク 1 は、上書きされます。

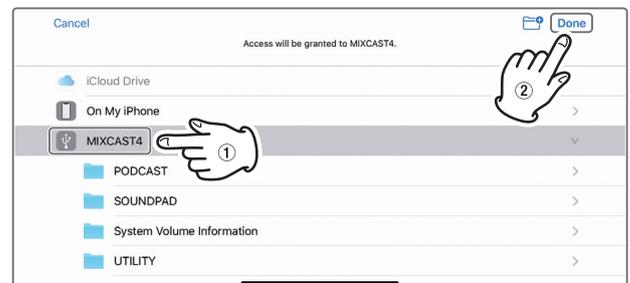
1. iOS/iPadOS デバイスの画面のサウンドパッド編集エリアから「Default Sounds」をタップします。



「Default Sounds」の読み込み中はプログレสบアを表示します。

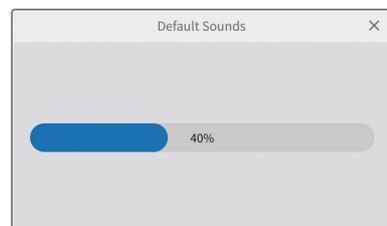


2. 外部ストレージ (Mixcast4) にアクセスの許可を求める画面を表示します。

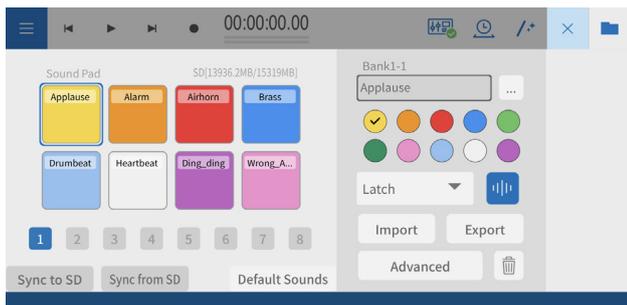


そのまま、「MIXCAST4」を選択して、画面の「Done」をタップします。

Mixcast 本体に「Default Sounds」を転送します。転送中は、プログレสบアを表示します。



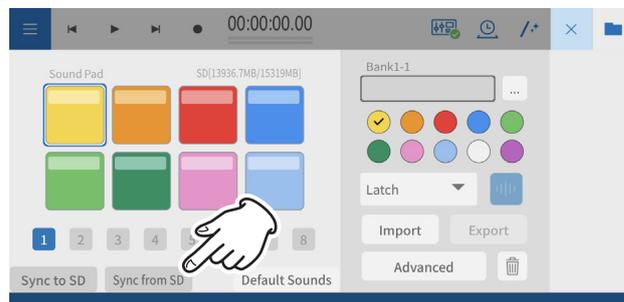
「Default Sounds」の転送完了後、iOS/iPadOS デバイスの画面のサウンドパッド編集エリアも、Mixcast 本体同様にバンク 1 に設定されます。



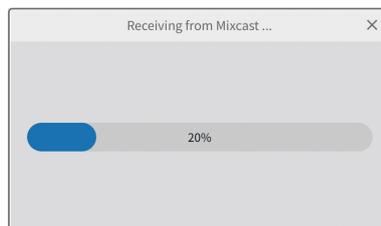
「Sync from SD」の操作について

Mixcast 本体のパッドの設定を本ソフトウェアに反映させます。「Sync from SD」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、Mixcast 接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

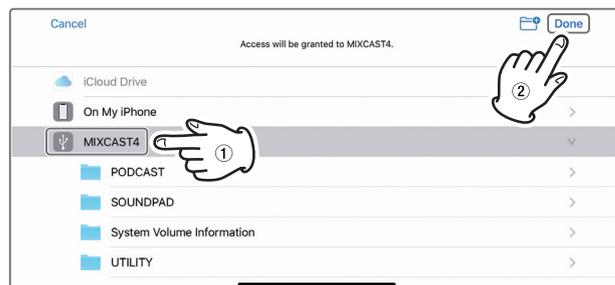
1. iOS/iPadOS デバイスの画面のサウンドパッド編集エリアから「Sync from SD」をタップします。



「Sync from SD」の読み込み中はプログレスバーを表示します。

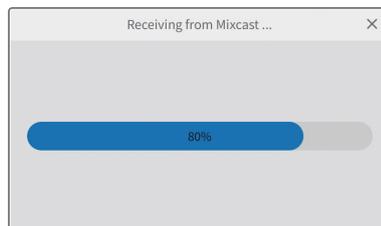


2. 外部ストレージ (Mixcast4) にアクセスの許可を求める画面を表示します。



そのまま、「MIXCAST4」を選択して、画面の「Done」をタップします。

Mixcast 本体からパッドの設定を読み込みます。読み込み中は、プログレスバーを表示します。



「Sync from SD」の読み込みが完了すると、iOS/iPadOS デバイスの画面に反映されます。

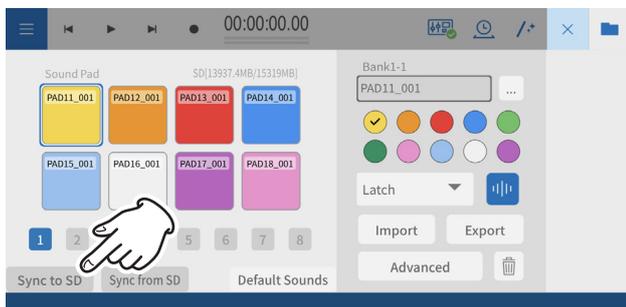


Mixcast 本体のパッド設定を表示します。

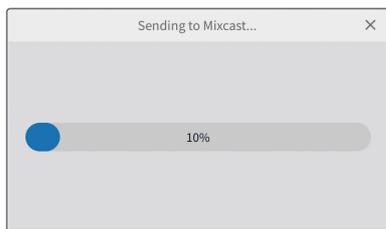
「Sync to SD」の操作について

本ソフトウェアのパッドの設定を Mixcast 本体に反映させます。「Sync to SD」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、Mixcast 接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

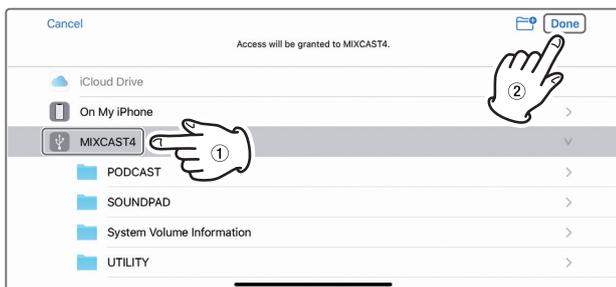
1. iOS/iPadOS デバイスの画面のサウンドパッド編集エリアから「Sync to SD」をタップします。



「Sync to SD」の転送中はプログレスバーを表示します。

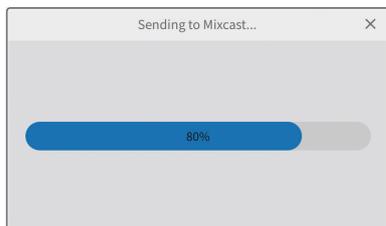


2. 外部ストレージ (Mixcast4) にアクセスの許可を求める画面を表示します。



そのまま、「MIXCAST4」を選択して、画面の「Done」をタップします。

Mixcast 本体へ、パッドの設定を転送します。転送中は、プログレスバーを表示します。



転送完了後、Mixcast 本体に本ソフトウェアのパッドの設定が反映されます。

「Import」の操作について

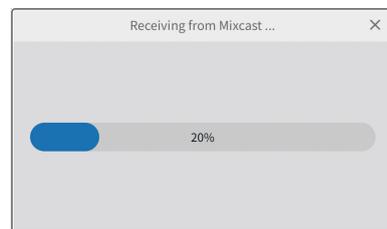
本ソフトウェアで選択されているパッドに Mixcast 本体のパッドの設定を反映させます。

「Import」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、Mixcast 接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

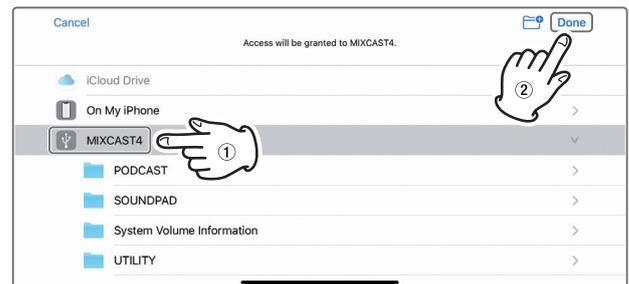
1. iOS/iPadOS デバイスの画面のサウンドパッド編集エリアから「Import」をタップします。



「Import」の読み込み中はプログレスバーを表示します。

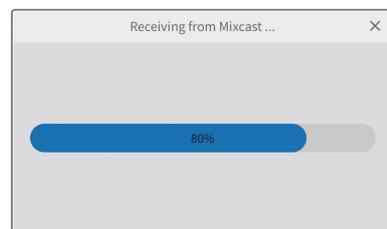


2. 外部ストレージ (Mixcast4) にアクセスの許可を求める画面を表示します。



そのまま、「MIXCAST4」を選択して、画面の「Done」をタップします。

Mixcast 本体からパッドの設定を読み込みます。読み込み中は、プログレスバーを表示します。



「Import」の読み込みが完了すると、iOS/iPadOS デバイスの画面に反映されます。

「Export」の操作について

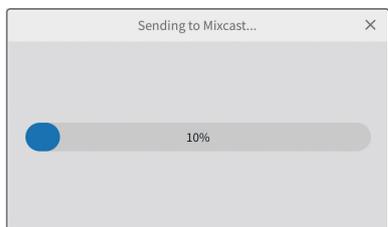
本ソフトウェアで選択されているパッドの設定を Mixcast 本体のパッドに反映させます。

「Export」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、Mixcast 接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

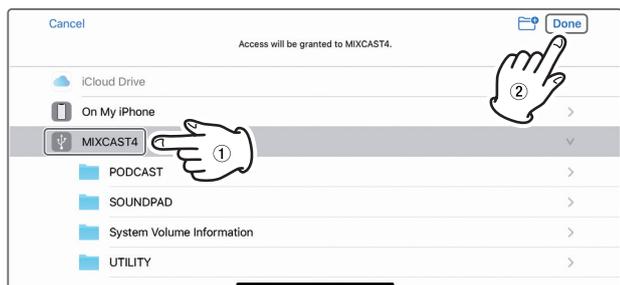
1. iOS/iPadOS デバイスの画面のサウンドパッド編集エリアから「Export」をタップします。



「Export」の転送中はプログレスバーを表示します。

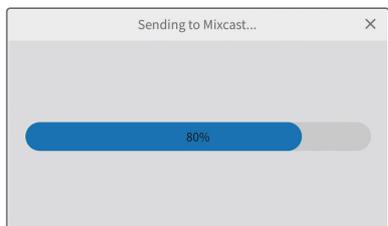


2. 外部ストレージ (Mixcast4) にアクセスの許可を求める画面を表示します。



そのまま、「MIXCAST4」を選択して、画面の「Done」をタップします。

Mixcast 本体へ、パッドの設定を転送します。転送中は、プログレスバーを表示します。



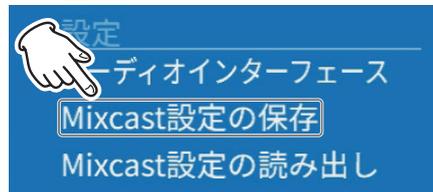
転送完了後、Mixcast 本体に本ソフトウェアのパッドの設定が反映されます。

「Mixcast 設定の保存」の操作について

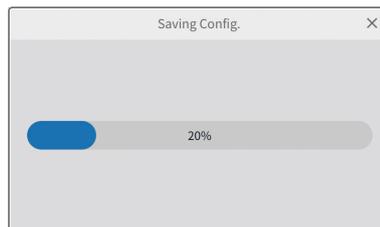
iOS/iPadOS デバイスと接続した Mixcast 本体の各種設定を保存するには、下記手順で行います。

「Mixcast - Save Config」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、Mixcast 接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

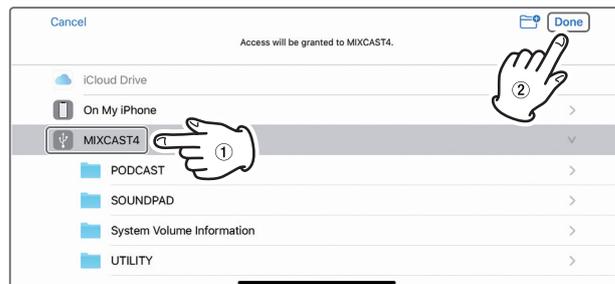
1. iOS/iPadOS デバイスの画面の波形編集画面からメニューを開いて、「Mixcast 設定の保存」をタップします。



Mixcast 本体の保存中はプログレスバーを表示します。



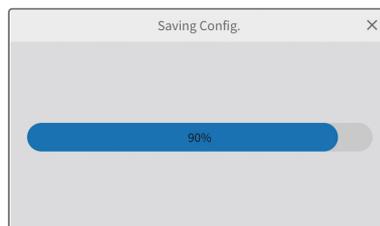
2. 外部ストレージ (Mixcast4) にアクセスの許可を求める画面を表示します。



そのまま、「MIXCAST4」を選択して、画面の「Done」をタップします。

Mixcast 本体の各種設定を「yyyyymmdd(日付)_hhmmss(時間)」のフォルダー名称で、プロジェクト内の「Mixcast」フォルダーに保存します。

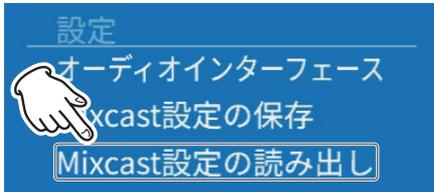
保存中は、プログレスバーを表示します。



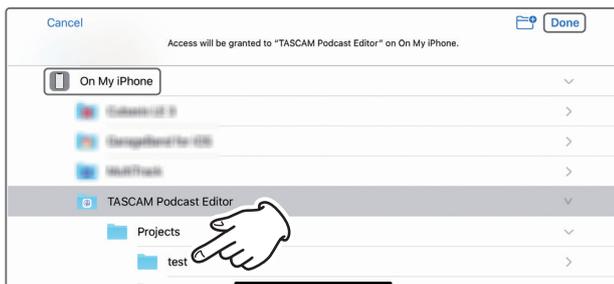
「Mixcast 設定の読み出し」の操作について

保存した Mixcast 本体の各種設定を読み出すには、下記手順で行います。「Mixcast 設定の読み出し」を行う際には、Mixcast 本体と USB ケーブルで接続し、Mixcast 接続アイコンの表示を確認後に実行してください。

1. iOS/iPadOS デバイスの画面の波形編集画面からメニューを開いて、「Mixcast 設定の読み出し」をタップします。



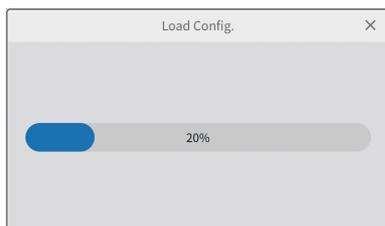
2. Mixcast 本体の各種設定が、保存してあるプロジェクトフォルダーを選択します。



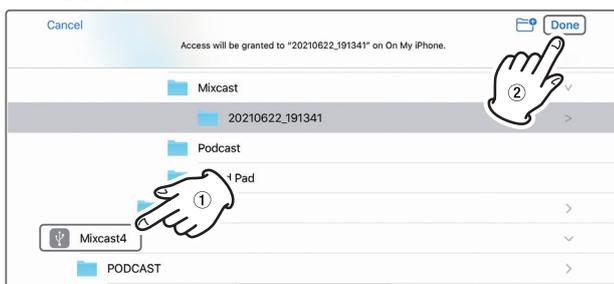
3. 保存時に生成された「yyyyymmdd(日付)_hhmmss(時間)」フォルダーを選択して、画面の「Done」をタップします。



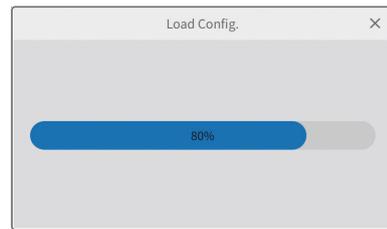
Mixcast 本体の各種設定の読み込み中はプログレスバーを表示します。



4. 次に「MIXCAST4」を選択して、画面の「Done」をタップします。



Mixcast 本体に保存した設定を転送します。転送中は、プログレスバーを表示します。



便利な機能

オートマチック

 アイコン

波形編集画面上のオートマチックを押すことにより、プロジェクト全体に1クリックでノイズ軽減、マイク間の音量調整が行えます。

- 実行中は、プログレスバーを表示します。
実行後、複数のリージョンを持つトラックの場合、リージョンは結合されます。

タイムストレッチ

 アイコン

波形編集画面上のタイムストレッチを押すことにより、タイムストレッチモードになります。

任意の単一リージョンもしくは、複数リージョンの終端部を操作することにより、リージョンの伸縮を行います。

- タイムストレッチがオンの間は、アイコンの背景色がハイライト表示になります
- リージョンの伸縮に合わせて、再生音声変化します。
実行後、複数のリージョンを持つトラックの場合、リージョンは結合されます。

Loudness Normalization

ポッドキャスト配信プラットフォームでは、一定値以上の音量を自動的に下げること、コンテンツごとの音のバラツキを無くすようになっています。あらかじめ、目的の音量を意識してエクスポートすることで、より良い編集が行えます。

波形編集画面のメニューから「エクスポート」>「Stereo Mix」項目から編集したファイルを書き出す際に、Loudness Normalization スイッチをオンにすると、プロジェクト全体の音量のバラつきを自動で最適化して、保存することができます。
(初期設定：オン)

自動時刻合わせ

プロジェクト画面の自動時刻合わせにチェックを入れておくと、Mixcast 本体と接続時に Mixcast 本体の日時をパソコン、または各デバイスの日時に修正 / 同期します。

Mixcast 設定の保存

- メニューから「Mixcast 設定の保存」を選択すると、現在のプロジェクトに Mixcast 本体の各種設定を「日付 + 時間」のフォルダ名称で所定の場所に保存します。
 - フォルダ名称 : yyyyymmdd_hhmmss

Mixcast 設定の読み出し

- メニューから「Mixcast 設定の読み出し」を選択すると、保存した Mixcast 本体の各種設定の一覧を表示します。
その一覧から目的の保存フォルダを選択してください。
フォルダの選択後に、Mixcast 本体に反映します。

こんな時は

接続編

- **ASIO ドライバーで入出力したい (Windows)**
TASCAM のウェブサイトから Mixcast 用 ASIO ドライバーをダウンロードしてお使いください。(Windows 10 用)
- **生配信 (OBS Studio など) しながら録音したい**
Windows のサウンド設定で、2 チャンネルに設定します。
12 ページの「メニュー」>「AudioInterface」>「Audio device type」で、ASIO を選択します。
(ASIO ドライバーについては、上の項目を参照してください。)
- **「Input1」、「Input2」しか選択できない**
14ch 入力になっていない可能性があります。7 ページの設定を確認してください。
 - Windows : [サウンド設定]
 - macOS : [オーディオ設定](Audio MIDI 設定)
- **Track1 (Mic1) のトラックにサウンドパッドの音が録音される (Windows / Mac)**
14ch 入力になっていない可能性があります。7 ページの設定を確認してください。
 - Windows : [サウンド設定]
 - macOS : [オーディオ設定](Audio MIDI 設定)
- **PC 側に USB Type - C 端子がありません (Windows / Mac)**
市販の変換アダプタを使って、付属の USB ケーブルの一方を Type - A に変換するか、Type - A - Type - C の USB ケーブルを別途ご用意願います。(共に規格準拠品をお使いください。)
- **Lightning と接続したい (iOS/iPadOS)**
Apple 純正の Lightning - USB カメラアダプタと規格に準拠した Type - A - Type - C の USB ケーブルを別途ご用意願います。
- **Mixcast との USB 接続を解除するとピークに達するノイズが発生する (ALL)**
Audio Interface 設定が Mixcast から他のデバイスに切り換えをする際に、そのデバイスで接続しているスピーカー出力をマイク入力が拾うことにより、ループが発生しています。
接続している USB デバイス機器の取り外しは、本ソフトウェアを終了した状態で行ってください。

Podcast 出力編

- **作成したポッドキャストをホストにアップロードしたい (ALL)**
波形編集画面 > 「Export」 > [Stereo Mix] 項目を選択して、アップロード条件に合った形式を選択してください。
「形式：MP3」、「Loudness Level :-15LUFS」であれば、ほとんどのポッドキャストホストでは問題ないです。
また、「Upload Shortcut」にアップロード URL を登録することによって、アクセスが容易になります。

プロジェクト編

- **別名保存したい (ALL)**
あらかじめ保存したい名前で、プロジェクトの複製を行ってください。
- **プロジェクト名を変更したい (ALL)**
プロジェクト画面でプロジェクトの複製を行い、希望するプロジェクト名を設定します。
オリジナルプロジェクトが不要な場合は、ゴミ箱アイコンで、削除してください。
- **Mixcast で録音したポッドキャストを簡単にアップロードしたい (ALL)**
下記のステップで、アップロードが行えます。
ステップ 1：「Mixcast から読み込む」で取り込む
ステップ 2：[Automatic] で一発調整
ステップ 3：[Export (Stereo Mix)] でミックスダウン出力
ステップ 4：[Upload Shortcut] でアップロード
- **Mac で作成したプロジェクトを iOS/iPadOS で編集したい**
(お使いの iPhone/iPad に本ソフトウェアがインストールされていることが必要です。)
ステップ 1：「Finder」>「書類」>「TASCAM Podcast Editor」>「Projects」の中から、編集したいプロジェクトフォルダを AirDrop で iPhone/iPad に送る。
ステップ 2：iPhone/iPad にて「"ファイル"で開く」で受け取り、「TASCAM Podcast Editor」>「Projects」の中に保存します。
ステップ 3：本ソフトウェアを起動し、「プロジェクトを開く」から保存したプロジェクトの ".tpe" ファイルを展開します。

一般編

- **頻繁にエクスプローラーが立ち上がるのを止めたい (Windows)**
Mixcast との間でファイル転送する際に、Mixcast 本体の SD カードにアクセスします。
Windows スタート > 「設定」> 「デバイス」> 「自動再生」から、リムーバブルドライブを「何もしない」を選択してください。
- **録音波形の一部分のみ、音量を変更したい (ALL)**
変更したい部分の前後にてリージョンを分割を行い、そのリージョンに対して、右クリック (Windows OS) や Control+ クリック (mac OS)、または長押し (iOS/iPadOS) することで、音量調整モードになります。
表示される「リージョン音量調整バー」の設定にて音量調整することができます。
- **メール着信音とか録音したくない (Windows)**
波形編集画面 > 「Audio interface」> 「Audio device type」で、「Windows Audio (Exclusive)」を選択してください。
本ソフトウェアが Audio を占有しますので、ブラウザから出る音声などが出なくなります。

- **トラックのアイコンを変更したい**
アイコンの変更はできません。TASCAM Mixcast に対応したアイコンが設定されています。(トラック名は、変更可能です。)
- **オーディオインターフェースからの入力がない**
 - お使いのオーディオインターフェースの接続、および設定を確認してください。
 - Mixcast 本体と USB ケーブルで接続した状態で、10 ページの波形編集画面から Mixcast 接続アイコン (⑥) が表示していることを確認してください。
 - 本ソフトウェアのメニューを開いて、「設定」> 「オーディオインターフェース」を選択して、「Output」/ 「Input」にお使いのオーディオインターフェースが選択されていること確認してください。
- **再生音が Mixcast から聞こえない**
12 ページの「メニュー」から「設定」> 「オーディオインターフェース」を選択して、「Output」項目に「Mixcast 4」が選択されている場合、再生音は、Mixcast の USB チャンネルに入力されます。
USB チャンネルの入力として、本ソフトウェアの再生音を確認することができます。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00 / 13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。